

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	各種統計調査事業
根拠法令等	統計法		法令

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象(受益者)	各種調査ごとの調査客体に対して
手 段	各種調査ごとに調査員により調査票の配布と回収を実施し
想定する成果	調査客体について調査し、その結果を行政施策の立案、実行の基礎資料とする。

③事業の概要

調査件数	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
工業統計調査	993件	460件	990件
商業統計調査	-	5,293件	-
サービス業基本調査	-	5,293件	-
事業所・企業統計調査	-	5,293件	-
全国消費実態調査	-	26件	-
農林業センサス	-	838件	-

④成果指標

成果指標名	調査充足度	①	②
成果指標の説明	(回収客体/調査客体数) * 100		

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	-
	実績	96.7%	98.8%	-
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	7,992	7,544	36,736
	人件費	6,494	6,429	6,624
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	14,486	13,973	43,360
財源内訳	国			
	県	7,923	7,268	36,182
	市債			
	その他			
	一般財源	6,563	6,705	7,178

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	一部調査に協力を得られない所もあったが、無事県に報告できた。
経済効率性	3	3	県委託金を有効に使い事務処理できた。
事務効率性	2	2	指導員・調査員に事務説明会を開催し、調査を円滑に進めている。
必要性	3	3	統計法に基づく調査でいろいろな行政資料として利用されるものである。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	対象者は市民である。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	各種統計調査が事故も無く、無事実施できた。
------	---	---	-----------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

調査票未提出者へは、市職員が直接訪問し提出してもらえるようお願いをした。

⑧今後改善すべき点

電子地図を活用して調査漏れや重複を防止するとともに、調査区・調査員の管理等にパソコンを使用し事務量の軽減に努める。

⑨平成18年度予算に反映する項目

電子地図の活用を考える。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	商工会議所運営支援事業	
根拠法令等	なし		なし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡商工会議所に対して
手 段	補助金を交付することにより
想定する成果	中小企業及び小規模事業所の資質の向上を図ると共に地域経済の活性化に取り組む。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
経営巡回・窓口相談指導実施回数	3,456人	3,425人	3,500人
講習会等の開催による指導	842人	540人	500人
蒲郡商工会議所運営事業補助金	3,500,000円	3,500,000円	3,500,000円
小規模指導事業補助金	4,300,000円	4,300,000円	4,300,000円
小規模指導事業補助金補助対象額	12,463,375円	11,612,877円	12,870,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
	経営指導等実施人数	補助対象事業に占める補助金の率
成果指標の説明	巡回・窓口相談指導+講習会等の開催による指導	補助金交付額/補助対象額×100

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	4,000人	4,000人	4,000人
	実績	4,298人	3,965人	-
成果指標②	計画	-	-	33.4%
	実績	34.5%	37.0%	-
事業費	事業費	7,800	7,800	7,800
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	8,612	8,604	8,628
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,612	8,604	8,628

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	当初の計画通り経営改善普及事業が実施できた。
経済効率性	2	2	国・県補助金を活用し有効に実施できた。
事務効率性	3	2	蒲郡商工会議所への補助事業で会議所が主体となって実施した。
必要性	2	2	地区内における商工業の総合的な改善、発達を図っている。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	1	対象が商工業者に限られている。
合計	11 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	中小企業の多い本市にとって、経営全般にわたっての相談指導、情報の提供及び個々の事業所の資質の向上を図り、地域経済の活性化に必要な事業である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

蒲郡商工会議所運営事業補助金については、今後必要な実施事業への補助に変更するよう検討が必要である。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	中心市街地活性化関連事業
根拠法令等	要綱		その他

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業

②事務事業の内容

対象（受益者）	中心市街地商店街に対して
手 段	中心市街地活性化事業に対して補助金を交付することにより
想定する成果	中心市街地の活性化を図るとともに、商店街の振興を促進する。

③事業の概要

補助事業・補助金額	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
福寿稲荷ごりやく市		5回・1,062千円	6回・1,094千円
チャレンジショップ		3店・360千円	3店・360千円
竹島ふれあい市	2回・24千円	2回・24千円	2回・20千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	TMO事業実施項目数	補助率
成果指標の説明	TMO構想に定められた事業の実施件数	補助金額/補助対象事業費×100

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	3	4	5
	実績	3	4	-
成果指標 ②	計画	-	-	50.0%
	実績	50.0%	50.0%	-
事業費	事業費	1,195	1,446	1,500
	人件費	2,435	2,411	2,484
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	3,630	3,857	3,984
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,630	3,857	3,984

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	平成16、17年度と継続して実施し、一定の成果を収めており今後も続ける予定である。
経済効率性	2	1	集客のための各種イベント等を実施しているが集客の少ない時も見受けられる。
事務効率性	2	2	商店街主体の事業だが、商店街のみの実施体制がとられてない。
必要性	3	3	中心市街地の活性化には必要である。
小計	10 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民等の集客を図るイベント
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	福寿稲荷ごりやく市については、まだ集客にばらつきがあるが、継続的に実施することにより知名度の上昇と共に集客も上がるものと期待する。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<p>蒲郡市では、中心市街地活性化基本計画を平成13年3月に策定しました。この基本計画に位置づけられた「商業等の活性化のための事業」を具体的に推進するために、平成14年3月に蒲郡商工会議所により蒲郡TMO構想が策定されました。これらに基づき中心市街地の活性化を進める中で、TMO事業構想の新たなイベント及び販促事業の創出として「福寿稲荷ごりやく市」を実施することとなりました。</p>
--

⑧今後改善すべき点

<p>福寿稲荷ごりやく市については、広く市民に周知し集客を図るとともに集客方法についても考えていく。</p>
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

<p>新たに一店逸品運動を展開していく。</p>

⑩組織、人員に関する提言

<p></p>

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	大規模小売店舗立地法関連事業	
根拠法令等	大規模小売店舗立地法		A法令	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業

②事務事業の内容

対象	大型店の設置者の大規模小売店舗立地法に基づく届出に対して
手段	市が大規模小売店舗立地法連絡調整会議を開くことにより
想定する成果	愛知県に対しての大規模小売店舗の設置に関して市の意見が反映される。

③事業の概要

項目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
届出件数	5件	5件	1件
調整会議等開催数	3件	5件	1件
意見等の提出件数	5件	5件	1件

④成果指標

成果指標名	①	②
	調整会議等開催数	意見等の提出件数
成果指標の説明	調整会議等開催数	意見等の提出件数

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1件
	実績	3件	5件	—
成果指標 ②	計画	—	—	1件
	実績	5件	5件	—
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	812	804	828
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	812	804	828

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	大型店が設置されると、便利になる反面、交通渋滞や騒音などの問題が起こったりするため、大型店に対して生活環境問題への適切な配慮が図られる。
経済効率性	3	2	この事業に関する経費は要しない。
事務効率性	2	2	申請時のみの対応で人員にみあった事務量である。
必要性	3	3	周辺地域の生活環境に関するため必要である。
小計	10 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	1	2	大型店の設置者が開く「説明会」に参加することができる。
合計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	
総合評価	B	B	地域の良好な生活環境を保持を図るために必要な制度である。

⑦これまでに実施した改善点

・この制度は大規模小売店舗立地法の施行により平成10年から始まった。今までに18件の届出に対し連絡調整会議を13回開催している。

⑧今後改善すべき点

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記す

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	地場産業需要開拓支援事業	
根拠法令等	なし		Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業

②事務事業の内容

対象	三河繊維産業商品開発研究会に対して
手段	ドイツの「ハムテキスタイル」などの展示会出展事業に補助金を交付することにより
想定する成果	新たな需要開拓や販路開拓及び三河織物産地のPRを図る。

③事業の概要

項目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
補助金額	2,288,000円	2,288,000円	2,288,000円
総事業費	6,492,666円	7,192,434円	5,119,993円
事業内容	三河繊維産地の産地ブランド構築のための需要開拓、販路開拓事業		

④成果指標

成果指標名	①	②
	補助率	展示会における引き合い数
成果指標の説明	補助金額／総事業費×100	展示会における引き合い数

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	44.7%
	実績	35.2%	31.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	70件
	実績	92件	44件	—
事業費	事業費	4,576	2,288	2,288
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	5,388	3,092	3,116
財源内訳	国	2,288		
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,100	3,092	3,116

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	三河繊維産地のPRが図られるなど、初期の目的は達成されている。
経済効率性	2	1	展示会に出展することにより、徐々ではあるが商引き合いも生まれるなど、ある程度の成果を上げている。
事務効率性	2	2	人員にみあった事務量である。
必要性	3	3	蒲郡市の地場産業である繊維産業の低迷が長引いている中、活性化を図るため今後も継続すべき事業である。
小計	9 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	0	3	商品開発研究会に限られている。
合計	9 / 15 満点中	10 / 15 満点中	
総合評価	B	B	地場産業である三河繊維産業についてのPRは徐々ではあるが図られている。

⑦これまでに実施した改善点

- ・この制度に係る補助制度は、平成13年度から始まり、今までに9,152千円交付している。
- ・三河繊維産業商品開発研究会は、繊維業界の産元協同組合、三河織物工業協同組合、東三河染色協同組合及び中部繊維ロープ工業協同の4団体の会員の中で、新商品開発や新たな需要開拓、販路開拓等に取り組み、三河産地の繊維産業の振興に寄与する目的に賛同する会員で組織されている。
- ・平成15年度までは、国が市と同額を市を通しての間接補助をしていたが、平成16年度から国の補助については、国から研究会への直接補助となった。

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成18年度予算に反映する項目

平成18年度から補助金の金額について見直しの検討が必要と思われる。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	労働対策事業	
根拠法令等	なし		Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	雇用

②事務事業の内容

対象	愛知労働者福祉協議会東三河支部と連合愛知三河東地域協議会蒲郡地区連絡会の2労働団体に
手段	補助金を交付することによって
想定する成果	労働者の地位・経済・福祉・労働条件等の向上を図る。

③事業の概要

項目	平成15年度実績		平成16年度実績		平成17年度計画	
補助金額	2団体	1,400,000円	2団体	1,400,000円	2団体	1,400,000円
総事業費		8,533,006円		8,918,169円		9,763,081円
補助対象額		7,515,000円		7,415,000円		7,315,000円
補助団体加入者数		33,571人		33,369人		33,200人

④成果指標

成果指標名	①	②
	総事業費に占める補助金の率	加入者1人当たりの補助金額
成果指標の説明	補助金額／総事業費×100	補助金額／加入者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	14.3%
	実績	16.4%	15.7%	—
成果指標 ②	計画	—	—	42.2%
	実績	41.7円	42.0円	—
事業費	事業費	1,400	1,400	1,400
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	2,212	2,204	2,228
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,212	2,204	2,228

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	2団体の運営事業に対する補助金を支出することにより、労働者福祉等の向上が推進された。
経済効率性	2	2	補助対象金額に対して定額補助にしているため、効率性は良いと思う。
事務効率性	2	2	前年に各団体からは要望書を徴収し、それに基づき予算化しているため事務効率は良い。
必要性	2	2	労働者の福祉等の増進が図られるため必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	補助を受けられる団体に限られている。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	
総合評価	B	B	労働者の福祉等の向上に貢献している。

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成18年度予算に反映する項目

平成18年度から補助金の見直しの検討が必要と思われる。

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	観光ビジョン策定事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民、各種産業界及び行政が、
手 段	観光新時代に対応できる魅力ある観光交流都市「蒲郡」の指針をすることにより、
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
蒲郡市観光ビジョン策定事業費		2,500,000円	
ビジョン作成冊数		3,000部	
委員会開催数及び委員数	—	15回、23名	—
観光ビジョンフォーラム参加者数		380名	

④成果指標

成果指標名	①	②
観光ビジョン1部当たりの作成費用		ビジョン配布先
成果指標の説明	観光ビジョン策定事業費/ビジョン作成冊数	観光関係部署（国、県、市）25箇所、市観光協会会員150名、ビジョン委員23名、総代48名、小・中学校20校

⑤事業の進捗状況

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	—	833円	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	266箇所	—
事業費	事業費	—	2,500	—
	人件費	—	4,018	—
	(人数)	—	0.5	—
	合計	—	6,518	—
財源内訳	国	—		—
	県	—		—
	市債	—		—
	その他	—		—
	一般財源	—	6,518	—

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	観光の専門家を委員長に招き、新しい観光都市創りを目指して、市民、産業界及び行政が一体となってビジョンの作成に取り組み、今後の有効な観光振興に活用される。
経済効率性	2	2	1冊の単価としては安価ではないが、市民及び市外に向けてのPRの効果を考えれば、適切な単価である。
事務効率性	2	2	観光ビジョンの運営委員で構成された運営委員会で検討したものを、本委員会に諮り承認する体制を取ったためスムーズに内容決定がされた。
必要性	3	3	観光都市「蒲郡」を再生する指針として必要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	3	ビジョン策定委員23名中、市民代表としての委員が2名である。
合計	11 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	万博後に観光客の落ち込みが見込まれる中、魅力ある観光地として生き残りを図り、いち早く観光蒲郡の再生に取り組んだことは評価に値する。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

⑧今後改善すべき点

平成16年度のみでの事業で終了した。今後は具体的なアクションプランの検討に入る。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡まつり事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客に
手 段	蒲郡まつりを開催することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
市負担金	35,000,000円	40,000,000円	34,500,000円
協賛金	6,129,000円	9,165,450円	5,885,000円
支出金額	41,704,568円	48,458,089円	42,620,000円
参加者・参観者	188,000人	206,000人	206,000人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	市の経費負担率 市の負担金/支出額×100	参観者一人当たりの経費 支出済額/(参加者・参観者)

⑤事業の進捗状況

(一般・モーターボート会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	80.9%
	実績	83.9%	82.5%	—
成果指標 ②	計画	—	—	207円
	実績	222円	235円	—
事業費	事業費	35,000	40,000	34,500
	人件費	4,870	4,822	4,968
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	39,870	44,822	39,468
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	39,870	44,822	39,468

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	市を代表するイベントとして定着しているが、催事によっては事業内容の見直しが必要なものもある。
経済効率性	2	2	市制50周年の昨年は別として、負担金や協賛金の減少の中でも催事は減っておらず、参観者も増加傾向にあり費用対効果はある。
事務効率性	1	1	催事ごとに組織が形成されているが、市職員の事務負担は大きい。
必要性	3	3	観光地蒲郡の最も大きなイベントとして、観光振興に寄与している。特に納涼花火は市外から多くの観光客を呼ぶ目玉となっている。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	カラオケ大会や中央通りの歩行者天国には、多くの市民が参加している。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	納涼花火の参観者は年々増加しており、観光客誘致のイベントとして継続する必要がある。その他の催事についても、主な事業は多くの市民の参加があり継続が必要である。但し、限りある費用の中で事業を継続していくには、経費削減など内容を検討する必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

⑧今後改善すべき点

<p>①現在、モーターボート競走事業特別会計の負担金と市民等の協賛金とで花火打ち上げの費用を賄っているが、負担金減も考えられる中、協賛金の増額に向けて努力する。</p> <p>②蒲郡まつりの各催事部会において、事業活性化のために催事内容を見直す。</p>

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	観光宣伝事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市を訪れる観光客に対し
手 段	観光蒲郡をPRするために、パンフレットの作成、新聞・雑誌に情報を掲載し
想定する成果	観光客誘致を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績		平成16年度実績		平成17年度計画	
観光パンフレット	25,000部	2,081,625円	25,000部	2,081,625円	45,000部	2,953,125円
観光封筒	5,000部	94,500円	15,000部	249,427円	10,000部	168,000円
観光ガイドマップ	26,250部	441,000円	26,250枚	330,750円	25,000部	420,000円
新聞等広告料等	18回	1,692,750円	19回	1,775,350円	15回	1,100,000円
観光地撮影委託料		511,875円		483,945円		484,050円
観光客入込数		8,167,512人		7,881,630人		—
宿泊者数		898,365人		929,796人		—

④成果指標

成果指標名	①	②
	観光客1人当たりの宣伝費用	宿泊者数1人当たりの宣伝費用
成果指標の説明	観光宣伝事業費/観光客入込数	観光宣伝事業費/宿泊者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	0.59円
	実績	0.59円	0.62円	—
成果指標 ②	計画	—	—	5.0円
	実績	5.4円	5.3円	—
事業費	事業費	4,822	4,921	5,125
	人件費	3,247	3,214	3,312
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	8,069	8,135	8,437
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,069	8,135	8,437

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	観光宣伝は継続していくことが必要なので、今後も有効な新聞、雑誌に絞り、PRする必要がある。
経済効率性	2	2	安価な費用で、観光客入込数や宿泊者数増加に反映する有効な手段である。
事務効率性	2	2	新聞、雑誌への広告宣伝は専門家に任せるため、事務量は非常に少ない。
必要性	3	3	観光交流立市宣言都市として“蒲郡市”として、観光客を誘致し観光振興を図るために必要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	0	1	観光客に対して行う事業なので、市民参加はない。
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	万博後の観光客誘致のために、魅力ある事業を企画することは当然だが、その事業をPRし、観光客増につながる手段として観光宣伝事業は必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

随時観光パンフレットの内容を見直している。

⑧今後改善すべき点

随時観光パンフレットの内容を見直しをする。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
事業コード		事務事業名	各種観光団体負担補助事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象(受益者)	観光団体及び協議会に参加し
手 段	広域的な観光事業に負担金を支払い
想定する成果	観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
参画観光団体名	日本観光協会、愛知県観光協会 計2団体	日本観光協会、愛知県観光協会 計2団体	日本観光協会、愛知県観光協会 計2団体
参画協議会名	三河湾国定公園協議会、観光地市町村長連絡協議会、三河湾周遊観光協議会、三河湾国定公園協議会蒲郡支部、東三河広域観光協議会、愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会、東海地区外国人誘致促進協議会 計7協議会	三河湾国定公園協議会、観光地市町村長連絡協議会、三河湾周遊観光協議会、三河湾国定公園協議会蒲郡支部、東三河広域観光協議会、愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会、東海地区外国人誘致促進協議会 計7協議会	三河湾国定公園協議会、観光地市町村長連絡協議会、三河湾周遊観光協議会、三河湾国定公園協議会蒲郡支部、東三河広域観光協議会、愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会、東海地区外国人誘致促進協議会 計7協議会
総負担金額	9団体 3,183千円	9団体 3,325千円	9団体 3,328千円
総事業費	9団体 1,104,693千円	9団体 1,063,066千円	9団体 1,016,968千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	事業負担比率	宿泊者数
成果指標の説明	負担金額/総事業費×100	宿泊者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	0.3%
	実績	0.3%	0.3%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	8,167,512人	7,881,630人	—
事業費	事業費	3,183	3,325	3,328
	人件費	3,247	3,214	3,312
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	6,430	6,539	6,640
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,430	6,539	6,640

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	協議会の一部は、事業目的を終えたものがある。
経済効率性	2	2	負担金といっても会費の意味合いが強く、金額は各市町村等の宿泊施設数や観光客入込数を基に算定している。
事務効率性	2	2	各協議会には事務局があり、市町村は総会等で承認された事業に参画している。
必要性	2	2	ポスト万博として、外国人誘致や修学旅行誘致など今後も活発に取り組む必要があるため、その基盤としての団体や協議会は重要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	0	0	観光団体や観光事業を目的にする協議会なので、市民参加はない。
合計	8 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	多くの観光団体や協議会は、参画する市町村や民間からの負担金（会費）で運営されている。その現状をふまえると市町村の合併や逼迫した財政を考え、一部の協議会について統廃合を検討すべきである。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

時代のニーズにあった協議会として、 名古屋修学旅行誘致促進協議会がH10年7月30日設立 東海地区外国人誘致促進協議会がH10年4月27日設立

⑧今後改善すべき点

時代のニーズにあった協議会の充実を図り、一部協議会については統廃合を検討する。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	観光道路維持管理事業	
根拠法令等	蒲郡市観光施設の設置及び管理に関する条例		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び観光客のために
手 段	観光道路を整備し
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
観光道路	31路線13.28km	31路線13.28km	31路線13.28km
維持管理費	4,504,500円	3,312,750円	3,030,000円
整備工事費	3,200,000円	2,700,000円	7,570,000円
観光入込客数	8,167,512人	7,881,630人	8,000,000人

④成果指標

	①	②	③
成果指標名	観光客一人当たりの維持管理費	観光客一人当たりの整備工事費	
成果指標の説明	維持管理費/観光入込客数	整備工事費/観光入込客数	

⑤事業の進捗状況

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	0.38円
	実績	0.55円	0.42円	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.95円
	実績	0.39円	0.34円	—
事業費	事業費	7,704	6,012	10,600
	人件費	5,682	5,625	5,796
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	13,386	11,637	16,396
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	13,386	11,637	16,396

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	各観光地区周辺の道路についての的確な維持管理が行なわれているが、観光客数は横ばいである。
経済効率性	1	2	それぞれの所管課で維持管理事務を行なっているため、経済効率性向上のためには管理の一元化が必要である。
事務効率性	3	2	各観光地区と密接な連絡が取れる観光担当課が事務を行なうことにより、迅速、緻密な事業遂行ができた。
必要性	3	3	マイカーや大型観光バスなどの観光客が多い観光地区においてぜひ必要とされる事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地元観光協会、総代区などの要望書、市民からの要望など常に要望把握に努めている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	観光地周辺の道路維持管理が中心だが、緊急時などの対応を含め、別々に管理を行っている道路管理各課の事業の一元管理が課題となっている。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

例年実施していた観光道路周辺の樹木剪定、草刈などの業務のうち、軽作業などの一部の業務について地元観光協会の協力を得て実施することができた。

⑧今後改善すべき点

観光道路周辺の樹木剪定、草刈について緊急を要さないものについてはなるべく周辺の土地所有者に剪定、草刈をお願いしていき、維持管理費用節減に努める。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	観光施設維持管理事業	
根拠法令等	蒲安市観光施設の設置及び管理に関する条例		A法令 B <u>条例</u> C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び観光客のために
手 段	観光施設を維持管理し
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
観光施設	9 1 施設	9 1 施設	9 1 施設
管理委託料	18,299,000円	19,322,000円	19,034,000円
修繕料	4,800,000円	2,800,000円	3,009,000円
光熱水費	3,850,000円	3,670,000円	3,595,000円
観光入込客数	8,167,512人	7,881,630人	8,000,000人

④成果指標

	①	②	③
成果指標名	観光客一人当たりの管理委託料	観光客一人当たりの修繕料	観光客一人当たりの光熱水費
成果指標の説明	管理委託料/観光入込客数	修繕料/観光入込客数	光熱水費/観光入込客数

⑤事業の進捗状況

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	2.37円
	実績	2.24円	2.45円	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.37円
	実績	0.58円	0.35円	—
成果指標 ③	計画	—	—	0.44円
	実績	0.47円	0.46円	—
事業費	事業費	26,949	25,792	25,638
	人件費	4,870	4,822	4,968
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	31,819	30,614	30,606
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	31,819	30,614	30,606

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	観光客の施設の維持管理に関する苦情も少なく、多くの観光施設がきちんと管理されているが、観光客数は一定である。
経済効率性	2	2	老朽化している施設が多い中で、ほぼ一定の費用で維持管理を行っている。
事務効率性	3	2	各地区観光協会と専門業者とが、それぞれ業務を分担し、成果をあげている。
必要性	3	3	観光施設がきちんと維持管理されていることが観光地としての基本であり、観光蒲郡にぜひ必要な事業である。
小計	10 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	観光ボランティアガイドなどを通して常に観光客や市民の意見を聞くようにしている。
合計	12 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	今後も観光施設はますます老朽化していくため、維持管理費用が増加していくと思われる。より一層の費用対効果を考えた事業の遂行が必要となってくると思われる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

市内で最も多くの観光客が訪れる竹島地区において、従来時間単位で清掃委託していたものを、職員が常駐して清掃などを行なうようにしたため、常に清掃がいきとどくようになった。

⑧今後改善すべき点

老朽化していく施設の修繕などについて、観光客の動向を見ながら優先順位をつけ、少ない費用で効果のある維持管理が必要である。
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	観光施設整備事業	
根拠法令等	蒲郡市観光施設の設置及び管理に関する条例		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び観光客のために
手 段	観光施設を整備し
想定する成果	地域の観光振興を図る

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
整備事業費	観光広報塔改修 556,500円	観光案内板 5,503,000円	三谷温泉展望台整備 1,900,000円
	三谷温泉下街灯改修 676,200円	西浦園地街灯取替 887,250円	西浦塩柄駐車場整備 950,000円
	アザサイ園地維持補修 897,750円	形原温泉駐車場補修 1,648,500円	西浦温泉駐車場街灯整備 800,000円
	竹島緑地休息所改修 532,350円	竹島園地施設周辺改修 892,500円	大島発電棟屋根補修 500,000円
	小規模工事 2,840,200円	小規模工事 2,571,750円	小規模工事 3,506,000円
観光入込客数	8,167,512人	7,881,630人	8,000,000人

④成果指標

	①	②	③
成果指標名	観光客一人当たりの整備事業費		
成果指標の説明	整備事業費/観光入込客数		

⑤事業の進捗状況

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	0.94円
	実績	0.67円	1.46円	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	5,503	11,503	7,656
	人件費	5,682	5,625	5,796
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	11,185	17,128	13,452
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	11,185	17,128	13,452

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	各観光地区からの要望をとらえた的確な施設設備が行なわれているが、観光客数は横ばいである。
経済効率性	2	2	地元観光協会と協力し費用を分担したり、愛知県の観光施設整備費補助金を活用し、施設を整備することができた。
事務効率性	2	2	施設整備の多くが他課による委託業務であるため、直接工事を行うことが少ない。
必要性	3	3	湯の町、海の町がまごおりにとって観光施設の整備は重要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	2	地元観光協会、総代区などの要望書、市民からの要望など常に要望把握に努めている。
合計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	大規模な施設が整備できない中で、主として老朽化したものを新たに整備する事業が中心になっている。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

古くからの観光施設について、観光客層の変化に伴い、従来の利用形態から新しい利用形態に変えることにより、新たな観光施設を整備すると同様の効果をあげた。

⑧今後改善すべき点

老朽化した観光施設の建て替え時に本来必要なものか、他の施設で代用できないか検討してみる。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載